

とっとり退職者連合

速報第 90 号 2024 年 8 月 8 日

鳥取退職者連合

〒680-0847 鳥取市天神町 30-5

TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615

発行人・山田敏明 編集人・西村一秋

鳥取退職者連合 & 各地区協議会発

■子どもたちに核兵器も戦争もない未来を■

3会場のピースウォークに参加

連合鳥取は「子どもたちに核兵器も戦争もない未来を」をメインスローガンに、毎年「ピースウォーク」を開催しており、鳥取退職者連合も、「現退一致の活動として、連合鳥取・各地域協議会との連携、一体行動としてメーデー大会、ピースウォークに参加していく」ことを活動方針で決定し活動に積極的に参加してきている。

今年も、連合鳥取の3つの地域協議会が企画した「ピースウォーク」に参加した。

【中央ピースウォーク(西部)／8月4日(日)】



米子駅前だんだん広場からのデモ行進は、のぼり旗やプラカードを掲げ、そして平和の象徴とされる「はと」風船を手にも、核兵器廃絶、世界の恒久平和を訴えて行進を行った。

その後、「この世界の片隅で」のアニメで平和学習を行った。(連合鳥取西部地協 Facebook より)

【東部地域ピースウォーク／8月3日(土)】

前日夕方から「熱中症警戒アラート」が発表されていたためデモ行進は中止となったため、参加者は直接会場の県民ふれあい会館に集合し、「平和学習」に臨んだ。

冒頭、参加者全員で恒久平和への誓いの黙とうを捧げた。

「平和学習」では、鳥取市歴史博物館の横山展宏学芸員(写真右)を講師に招き、「昭和の戦争と鳥取」と題して講演をいただいた。鳥取県東部の人たちの陸軍の所属部隊や連隊の兵舎の位置、当時の生活や訓練の様子などについて詳しく説明を受けた。

また、参加者は広島に届ける折り鶴を作成した。



【中部地域ピースウォーク／7月30日(金)】

鳥取地球人クラブ 代表 中尾和則さんを講師に、「今すぐ戦闘をやめなさい！～パレスチナ紛争、ガザ侵攻と平和への願い～」と題して講演をいただいた。

「ルールを守らせる術がない」「戦闘が終わっても、何の関係もない人が、子どもたちが犠牲になる。これが戦争なんだ」という言葉が印象的だった。「平和が当たり前前にあるものではないが、平和は当たり前にあるものだ。子どもたちに平和な世界を残すことが、我々の責務だ」との参加者の想いを共有し、改めて平和の大切さ、不戦への決意を再確認した。

学習会後には、倉吉駅前までデモ行進によるアピール行動を行った。

(連合鳥取中部地協 Facebook より)



中部地区協発

■陶芸体験教室で 作品づくりに挑戦！■

6月13日(木)、倉吉市不入岡の上神焼き窯元において「陶芸体験教室」を開催し、16人の参加者が湯呑、コーヒーカップ、皿、などが焼き上がり、7月18日(木)に出来上がった作品の展示と講評を受け持ち帰った。

参加者からは、「いい色合いでよかった！」「帰って早速使いたい」「来年はどんな作品にしようかな？」など感想を語っていた。

(寄稿 鳥取退職者連合中部地区協議会 事務局長 平田義人)



鳥取退職者連合 & 連合鳥取発

・機関紙「れんごう鳥取」No.8より抜粋

■生活と政治は 直結しています！ 現退一致で取り組もう！！■

南部町議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は「第8回(拡大)執行委員会(7月18日開催)」において、南部町議会議員選挙(10月8日告示・10月13日投開票)に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

組合員のみなさまのご支援、ご家族、ご友人、知人のみなさまへのご周知をよろしくお願いします。

(告示日時点の年齢/経歴/推薦依頼組織)

ながつか

長東 博信 (73歳/現2期/部落解放同盟)



■ありがとうございました！■

境港市長選挙 結果

6月30日(日)に告示された境港市長選挙は、ほかに立候補者がいなかったため、連合鳥取推薦の伊達憲太郎さんが無投票で再選を果たしました。

連合鳥取推薦候補者のためご尽力いただきましたみなさんに心より感謝申し上げます。

当選 だて けんたろう
伊達 憲太郎 (推薦依頼組織/自治労)



鳥取退職者連合 & 日本退職者連合発

■戦後 79 年、沖縄復帰 52 年・ 平和と人権について問う■

7月16日(火)に開催された「日本退職者連合2024全国組織代表者会議」、翌17日(水)の「第28回定期総会」で沖縄県退職者連合の代議員から強い発言があった。

戦後79年、沖縄復帰52年を過ぎても沖縄米軍の女性の尊厳を傷つけ、県民を愚弄し続けている問題に全国の日本退職者の中間に共有してほしいとの発言であった。

今、沖縄は再び「台湾有事」を理由として軍事要塞化が強行されている。また、沖縄に限らず日米軍事一体化の下で全国の民間空港・港湾が共有できる体制が進められている。

沖縄の抱える基地問題を身近に感じ取り「戦争のできる国づくり」を許さない、平和で安心して暮らせる社会をつくるため沖縄県民の声を共有しましょう。

(鳥取退職者連合 事務局長 西村一秋)

2024年7月
沖縄県退職者連合

人間としての心は無いのですか

沖縄県内では、また、また、米兵による事件が起こっております。

新聞やテレビなどで知っていると思いますが、改めて報告させていただきます。

米兵による少女誘拐暴行事件が起こり、検察は起訴まで持って行ったということ。

しかし、このことを私たち沖縄県民は、知りませんでした。

県民だけではありません、県知事にも知らされていませんでした。

米兵による犯罪の被害者が沖縄県民であるにもかかわらず、県民を代表する知事にさえ、米軍も日本政府も米兵の犯罪行為を半年もの間、明らかにしていなかったのです。

沖縄県議選が終わるまで県警は隠蔽し続け、県知事にも知らせませんでした。

6月の県議会議員選挙の前や選挙最中に明らかにすれば、岸田政権はもとより、自民党や自民系の議員と予定候補が不利になることを警察が忖度したとしか思えません。

事件は昨年末のことですから、この半年間に岸田総理は、今年4月の訪米でバイデン大統領と握手までしています。米兵による婦女暴行事件は無かったかのように。

さらに去る6月23日の沖縄慰霊の日の戦没者追悼の前後には、県知事や県民に「お詫び」のコメントを出す機会がありました。

なのに、知らんぷり。岸田総理は戦没者にどんな気持ちで哀悼の意を捧げたのでしょうか。

国民一人ひとりの人権を尊重し守り抜かねばならない総理大臣が、アメリカにただただ追従し、在日米軍人の横暴、いや米兵の犯罪にさえ抗議しない、女性しかも未成年の少女が米兵から性的暴行を受けて裁判も始まるというのに。

そんな日本政府の対応から、第1回公判で「アイム・ノット・ギルティ」"私は無実だ"と米兵（25歳）は事件を否定しています。

これらの問題が片付かない中で、米兵による女性への暴行・未遂事件以外にも米兵による事件は、その後も起こっています。

戦後79年、復帰50年を過ぎてなお、米軍は女性の尊厳を傷つけ沖縄県民を愚弄し続けています。それを許しているのは誰でしょうか。

これでは復帰前より最悪です。米国の意のまま、日本政府は、艦砲と戦車で沖縄に上陸して来た米軍に占領支配れていた時代よりも最悪な米軍駐留を認めているのです。

本当に、岸田総理、外務大臣は、痛みを感じないのでしょうか。

これでは沖縄戦が終わったとは言えません。沖縄が祖国復帰したとも言えません。

アメリカと日本政府が一体となって沖縄県を支配する、米兵の犯罪による悲しみの絶えない沖縄です。

日本退職者連合
2024 全国組織代表者会議
第28回定期総会 発言主旨

鳥取退職者連合発

—当面の予定—

・鳥取退職者連合

第32回定期総会	10月 1日(火)／国民宿舎水明荘
全県学習会	10月 1日(火)／国民宿舎水明荘
第28回グラウンド・ゴルフ大会	10月10日(木)／北栄町お台場公園
	予備日 10月11日(金)

※詳細が決定次第、各組織、役員のみなさんにご案内します※

残暑お見舞い申し上げます

—事務局の夏季休暇について—

◆夏季休暇日程

8月10日(土)、11日(日)、12日(月/祝:山の日)
13日(火)～15日(木) ←夏季休暇
16日(金) ←連合鳥取特別休暇
17日(土)、18日(日)



◆緊急連絡先

西村事務局長：090-4652-0335

